

.....編集後記.....

◆本特集のタイトル「宇宙・惑星・地球」は編集委員会幹事会の命名によるものです。少し大きかかなと思いましたが、メッセージとして見てください。本号の母体は、平成3-4年度にかけて行われた「惑星探査ミッションの研究」、昨年の地質調査所東京講演会「惑星地質とリモートセンシング」における講演、および一般投稿原稿です。

◆地質ニュースは大きく一般号と特集号に分けられます。この内、特集号は普通、委員会または地質調査所所員が企画して、原稿を集めます。集まった原稿をもとに、企画した担当者と相談しながら委員会幹事（または委員長か副委員長）が特集号を編集していきます。本号は、最初に述べましたように従来とはちょっと違って、編集幹事がより意図的に作成したものです。

◆本号の母体の一つである「惑星探査ミッションの研究」は、当所国際協力室山口 靖氏を中心として所内外の研究者による問題提起と自由討論による、

セミナー形式の討議で進められたものです。セミナーでの発表は地質調査所研究資料集, no. 185 (1993)として公表されています。

◆山口 靖氏は「日本もいつか自前の観測機器によって惑星達を調査することになる。その時、地質調査所の研究者として、地球での様々な地質学的経験をもとに積極的に惑星探査へ乗り出したい。『惑星探査ミッションの研究』は、その願いを込めた地質調査所研究者からのメッセージだ」と述べています。

◆東京講演会で水谷 仁宇宙科学研究所教授は、同研究所による月や火星、小惑星探査計画を紹介されました。宇宙開発事業団は国産の大型ロケットH2を用意しています。山口 靖氏の思い描く時代は以外と早くやってくるかも知れません。

◆平成6年度の予算審議の真似をしているわけではないが、年末には仕上げる予定が年度末となってしまった。遅れてしまったことを心からお詫び申し上げます。 幹事 宮崎光旗 記

[訂正]

- 1993年11月号口絵写真4の説明文中上から2行目
(誤) 地震前 (左:1993年7月8日撮影, →(正) 地震前 (右:1993年7月8日撮影,
- 1993年11月号口絵写真4の説明文中上から4行目
(誤) 地震前 (右:1993年7月18日撮影, →(正) 地震前 (左:1993年7月18日撮影,
- 1993年11月号 P67 編集後記左側上から5行目
(誤) ◆今月号は、5月に発生した →(正) ◆今月号は、7月に発生した

地質ニュース編集委員会

委員長:小玉喜三郎

副委員長:佐藤興平

幹事:宮崎光旗・奥村公男・石井武政

委員:今井 登・岡村行信・杉原光彦・内田弘弘・野田徹郎・鈴木耐元・豊 遙秋・佐藤岱生

顧問:林 暉・石原舜三・大嶋和雄・高橋 博

事務局:総務部業務課広報係(中島秀記・清水真寿美)

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ

地質ニュース	第473号 1994年1月号
	定価 ¥ 770 千実費
1994年1月1日 発行	
編集	工業技術院地質調査所
発行人	林 久 雄
発行所	株式会社久業公報社
	東京都千代田区九段北1の7の8
	〒102
	Tel. (03)3265-0951 (代表)
	振替口座 東京 00110-6-32466
	麹町局私書箱第21号
印刷	小宮山印刷工業株式会社

©1994 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。